

2025 年 10 月 10 日
第 250 号日本労働組合総連合会神奈川県連合会
横 浜 地 域 連 合連絡事務所 〒231-0031 横浜市中区万代町 2-4-7
横浜市民文化会館 402 号
TEL. 045-641-6262 FAX. 045-641-6252発行責任者 秋山 純一
編集責任者 高橋 直樹・久保田 政宏

要望書を手交する山中市長と秋山議長

特に、子育てしたい街をつくるために医療費、出産費用の独自助成など経済的な支援に取り組んできた。今後は子育てしている方々が時間的なゆとりを持てるような取り組み

秋山議長は「連合は2025春季生活闘争において『みんなでつくる！賃上げがあたりまえの社会』をスローガンに、昨年から続く賃上げの流れを持続させるべく取り組み、確実にその成果を勝ち取ってきた。しかし物価上昇は賃金の上昇を上回り、実質賃金は下落を続け、賃金上昇を実感できない状況が続いている。このようなときこそ行政の役割として、社会的なセーフティネット機能の強化が求められている。今回の政策・制度要求については各構成組織、産別より寄せら

れたものを37項目にまとめ、この取りまとめにあたり、7月の業務説明会など、経済局をはじめ関係各所にて、大変丁寧にご対応いただいた。この場を借りて厚くお礼申し上げたい。今後各地区連合からそれぞれの行政区に対して同様の要望が提出されると思うが、そちらに対しては誠意あるご対応をお願いしたい」と挨拶した。

9月1日(月)、横浜地域連合は秋山議長をはじめ、五役10名、地区連合代表者4名、政策委員6名の参加により、連合神奈川と共に「2026年度に向けた政策・制度要求と提言」を横浜市へ提出した。

「安心・安全・安定の市政」「住みやすい横浜」をめざして
「2026年度に向けた政策・制度要求と提言」を横浜市へ提出



み方をさまざま考えていく。一方で高齢者が安心して医療を受けられる環境も必要であるし、医療にかかる前の検診の充実も目指したい。さらに最近頻発している地震、台風などの自然災害に対する防災・減災にも大幅に力をいれていきたい。市民の皆様、働く皆様の安心・安全な生活を守り抜くことが行政の使命なので、災害に対してあらゆる対策を講じることは最優先である。強靱な街づくりをすすめる、横浜で暮らしたい、働きたい方が一人でも増えるように全力を尽くす。横浜をさらに暮らしやすく働きやすい街にしていきたいために、今後も連合神奈川、横浜地域連合の皆様と普段からやり取りをさせていただき、「政策・制度要求と提言」のよう

横浜市会議員団へ要請行動を行う!

「2026年度に向けた政策・制度要求と提言」の横浜市への提出に先立ち、立憲民主党横浜市会議員団、国民民主党横浜市会議員団・無所属の会へ要請行動を行った。

まず、7月29日14時から立憲民主党市会議員団へ要請行動を行った。横浜地域連合からは秋山議長をはじめ五役、地区連合代表者、政策委員の計22名が参加し、立憲市会議員団からは大岩団長をはじめ、12名の議員が参加した。進行は山浦副団長が行い、大岩団長、秋山議長の挨拶の後、要請書が手交された。「2026年度に向けた政策・制度要求と提言」について久保田事務局長が概要を説明し、意見交換が行われた。その中では「子どもの不登校に対する施策」「介護サービスの充実」「電気トラックの充電インフラ整備」「美化推進重点地区」「教職員の働き方改革」など、多方面から政策要求に対する意見が出された。



小粥団長へ要請書を手渡す秋山議長

政策実現に向け、あらためて横浜地域連合と立憲民主党市会議員団・国民民主党市会議員団・無所属の会との連携を強化することを確認し、要請行動を終えた。



大岩団長へ要請書を手渡す秋山議長

また、7月29日14時から立憲民主党市会議員団へ要請行動を行った。横浜地域連合からは五役9名、国民民主党市会議員団・無所属の会からは小粥団長をはじめ、4名の議員が参加した。両代表の挨拶、要請書手交、そして概要説明に続いて意見交換が行われた。「横浜経済の活性化」「国際園芸博覧会に関わる整備」「脱炭素化に向けての整備」「子ども食堂への支援について」「防災拠点等の備蓄品整備」など、こ

引き続き行われた重点政策の説明では、高橋雄二政策委員長から安全安心な街づくりを視点に、①福祉・社会保障政策」に関わり、子育て支援について、②社



高橋政策委員長

会インフラ政策」に関わり、国際園芸博覧会開催に向けての整備等の2点について発言した。それを受け、山中市長からは①については、今後も子ども医療費や預けやすい街づくり、図書館・動物園等についても整備の充実を図っていく②国際園芸博覧会の環境整備については多くの横浜市民、団体、県等と連携し対応していく旨の、コメントが述べられ、要請行動が終了した。回答は12月中旬を予定している。



ご参加いただいたみなさん

連合神奈川と横浜地域連合では、80年前に広島と長崎に原爆が投下され、多くの尊い命が奪われた8月6日〜9日のゾーンをピースウィークと位置づけ、「連合神奈川ピースウィーク」核兵器ゼロの世界をめざして「〜」をテーマに、各地域で市民に訴えかけている。

横浜地域連合は8月7日(木)、JR桜木町駅前広場において「2025ピースウィーク行動」を実施した。秋山議長をはじめ五役、横浜市長から高村国際局政策総務課長、立憲民主党と国民民主党の各級議員が参加した。

2025ピースウィーク行動

地球上からすべての核兵器をなくそう



秋山議長

また、横浜市内の6地区連合でもそれぞれの地区の中心となる駅頭などで地区連合役員、および役員単組からの参加者、活動に賛同する各級議員の参加によりピースウィーク行動が行なわれている。多くの一般市民の命と生活を奪い、生涯にわたって心身を痛み続ける非人道的な核兵器の危険性や脅威は、世界中で認識されているにも関わらず、現在もおよそ12,340発あまりの核兵器が地球上存在します。世界平和が脅かされている今、あらためて核兵器をなくすことが大



連合神奈川 林会長

変重要な課題となっている。

当日は夕方とはいえ、まだ暑さが厳しい条件下だったが、連合神奈川より林会長、横浜地域連合秋山議長、横浜市長より高村課長からそれぞれ挨拶の中でも平和の大切さを訴えるとともに、「1日も早く戦争や核兵器のない世界をつくらう」と呼びかけた。



横浜市国際局
政策総務課
高村課長

連合神奈川より林会長をはじめ、横浜地域連合から五役を中心に13名、各級議員15名の参加により、市民の方々へ平和への思いをアピールすることができた。

その後のマイクリレーでは立憲民主党・国民民主党の代表議員から核兵器の廃絶と世界の恒久平和を実現するための訴えが行われ、同時に五役や議員を中心に「連合神奈川ピースウィーク」のチラシ入りティッシュペーパーの配布も行い、1500個を道行く方々に手渡した。

7月20日告示、8月3日投票で行われた横浜市長選挙は、再選をめざす現職に対して新人5名の計6名が立候補。連合神奈川・横浜地域連合が推薦した山中氏は1期4年



あざみ野駅頭にて

の評価がされ、再選を果たしました。関係者のみなさんへあらためて感謝いたします。われわれの政策・制度要求と提言をもとに2期目の更なる市政運営に大いに期待するところです。



開票日、山中市長に花束を贈る秋山議長

山中氏再選

横浜市長選挙

7月20日、第27回参議院議員選挙の投開票が行われ神奈川選挙区定数4名に対して現職2名、新人14名の計16名が立候補。結果連合神奈川・横浜地域連合推薦の

氏名	所属政党	得票数	順位
牧山 ひろえ	立憲民主党	731	現3 (1位)
かごしま 彰宏	国民民主党	731	新 (2位)

両名が激戦を制し、みごと当選しました。関係者のみなさんへあらためて感謝いたします。

第27回参議院議員選挙



横浜地域連合

X



横浜地域連合は横浜ビー・コルセアーズを応援しています